

平成29年度 八代高等学校シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ＋数学Ⅲ	学年	2	類型	高進理系
単位数	3＋1	教科書	高等学校 数学Ⅱ（数研出版）、高等学校 数学Ⅲ（数研出版）				
副教材	クリアー数学Ⅱ＋B（数研出版）						

学習目標	<p>数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。また、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。</p>
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学 期	第3章 図形と方程式 点と直線	線分の内分点，外分点の座標が求められる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	円	与えられた条件を満たす直線の方程式を求められる。 与えられた条件を満たす円の方程式を求められる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	軌跡と領域	円の接線の公式を理解していて，それを利用できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	第4章 三角関数 三角関数	与えられた条件を満たす点の軌跡領域を求められる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		弧度法で表された角の三角関数の値を求められる。 三角関数の相互関係を理解し，利用できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	加法定理	加法定理を利用して，三角関数の値を求められる。 三角関数の合成を理解している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	第5章 指数関数と対数関数 指数関数	指数法則を利用した計算ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	対数関数	指数方程式・不等式を解くことができる。 対数の性質に基づいた値の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	第6章 微分法と積分法 微分係数と導関数	対数方程式・不等式を解くことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	関数の値の変化 積分法	導関数を利用して，接線を求められる。 導関数を利用して，極値を求め，グラフがかける。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		不定積分・定積分の計算ができる。 直線や曲線で囲まれた部分の面積が求められる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学 期	第1章 複素数平面	複素数の複素数平面における図形的意味を理解する。 極形式とその乗法と除法の図形的意味を理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

学習方法	<p>予習を前提とした授業を行う。予習では例や例題を参考に、練習問題に取り組むこと。復習にはクリアー数学を活用し、内容の定着を図ること。</p>
------	--

評価方法	<p>考査評価8割、平常評価2割で総合的に評価し、最終的に100点法の評点、および5段階で評価する。平常評価は課題提出、小テスト、授業への取り組み等で行う。</p>
------	--